学校番号	1202

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	(学)電気工事技術Ⅱ	単位数	1単位	年次	3年次
使用教科書							
副教材等	プリントなど						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

電気工事士に関する技術について実習を行います。
低圧屋内配線の各種施工方法や設計、電気設備技術基準に則した法令、配線図等の理解など、実践的な技術の習得をめざします。上半期認定の科目です。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
電気工事の各種施工方法やその用途を理解し、関連する器具や工具を学び、電線および器具の接続技術などを、実習を通して身につける。また、配線図を読み作業できる力を養い、設計につながる考え方と技術を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
配線図を基に、必要な器具や電線、工具の選別を行い、配線できる力を身につける。
電気設備技術基準に基づき、配線の安全性を確認し、良否を判断できる力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
電気工事という分野に関心を持ち、第二種電気工事士の資格範囲を中心に、さらなる知識と技術の習得に積極的に取り組む姿勢を持たせる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・各種施工方法による基本的な知識を理解するとともに、第二種電気工事士をはじめとする資格に適用できる知識が身についている。 ・電気設備技術基準について理解し、電気工事に関する関連法に合わせて施工できる技術が身についている。 ・第二種電気工事士の模擬試験などを通して、電気工事を安全・確実に行うために必要な知識と技術が身についていることが確認できる。	・各種施工方法に合わせて、必要な知識や技術、電気設備技術基準などの関連法などを考察・判断することができる。 ・基本的な作業を通して、学んだ内容や技術が身についているかを、作品の形で表す力が身についている。 ・第二種電気工事士の模擬試験などを通して、作業に必要な知識や技術の違いなどを考察・判断することができる。	・電気工事という分野に興味・関心を持ち、各種施工方法をはじめとする基本的な知識や技術などに対して積極的に取り組み、身につけようとする姿勢を持っている。 ・第二種電気工事士の資格などに興味を持ち、積極的に取得する態度を持っている。 ・単位作業に積極的に取り組み、しっかりと仕上げようとする態度を持っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	配線図	・図記号 ・電気設備技術基準とその関連法 ・各種施工方法 ・配線図 ・第二種電気工事士の筆記試験	a:電気設備技術基準をはじめとする関連法を理解するとともに、第二種電気工事士筆記試験の合格レベルで使いこなすことができる。 b:配線図を基に、それらを施工するための適切な知識と施工方法を第二種電気工事士筆記試験の合格レベルで考察・判断することができる。 c:電気工事の知識に関心を持ち、配線図を読み解く力などに活用しようとしている。	・授業観察 ・確認テスト ・提出物	・授業観察 ・確認テスト ・提出物	・授業観察
	単位作業	・器具への電線の接続 ・電線相互の接続 ・各種施工方法に関する作業 ・単位作業	a:電気設備技術基準に基づく各種施工方法を理解するとともに、単位作業に向けて使いこなすことができる。 b:電気設備技術基準に基づく電線の各種接続作業など、単位作業に適切な方法などを考察することができる。 c:単位作業に関心を持ち、電気設備技術基準を基にした配線図や各種施工方法などを活用しようとしている。	・授業観察 ・単位作業 ・提出物	・授業観察 ・単位作業 ・提出物	・授業観察
2	模擬試験を通した練習	・第二種電気工事士技能試験の模擬試験	a:単位作業で学んだ各種技術を理解するとともに、第二種電気工事士技能試験の合格レベルで使いこなすことができる。 b:単位作業で学んだ各種技術をもとに、第二種電気工事士技術試験に対して、適切な作業方法などを考察することができる。 c:単位作業に関心を持ち、第二種電気工事士技術試験合格レベルで技術などを活用しようとしている。	・授業観察 ・模擬試験 ・提出物	・授業観察 ・模擬試験 ・提出物	・授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度